

今井産業 株式会社

● 総合建設業（土木・建築・舗装）

❶ 25年10月まで江津商工会議所会頭を4年間務め、地域の実情を痛感したという今井社長。「オール江津、オール石見で発展していく必要があります」
❷ インフラ整備を通じて暮らしを守る今井産業の社員
❸ オレンジのコーポレートカラーが目々を惹く社有車
❹ ❺ 社員同士の仲が良く、勤務中だけでなく休日も部活動などで集まってトレーニングやサッカーなどを楽しんでいる

26

LEADING COMPANY

仕事に誇りと使命感を持ち 安心して住みよい地域をつくる

島根県を拠点に土木、建築工事を通して地域の発展に貢献してきた《今井産業株式会社》。3年後の創業100年を前に数々のプロジェクトが進行しており、さらなる成長へと弾みをつけている。

唯一無二を生み出す 建設業の醍醐味

一見、同じようなビルや道路に見えても、全く同じものは一つとしてない。「世界で唯一のものを造れる。それが建設業の醍醐味です」。今井久師社長（62）の顔は誇りに満ちている。江の川水系の氾濫で幾度も地域や会社が被災してきたことから、災害復興への思いはひと際強く、「安心して住みよい地域を作るのが我々の仕事。しかし、災害発生時には、寝食を忘れ、全力を挙げて復興に力を注ぎます」と使命感をにじませる。江津市を本拠地としつつ、東京や広島にも支店を展開し、高層マンションや総合病院など数々の大規模

建設の実績を重ねている。社業の発展に挑戦は不可欠とし、今後は関西や九州への進出も視野に入れている。創業100年を前に現在、数々のプロジェクトが進行。24年にはユニフォームを一新したほか、25年には給与水準や資格手当の見直しや、借り上げ社宅制度の導入など、社員がよりモチベーション高く働ける環境整備に力を入れる。持続可能な社会づくりを背景に、建設業界のあり方が問われる現代。「ロングライフ化が求められる中、効率化を推進し、技術をバージョンアップする必要がある」と今井社長。「地域や会社を良くするためなら何でも挑戦したい」。その熱い言葉は、建設業の枠に留まらない躍進を予感させる。





今井産業 株式会社

創 業 昭和3 (1928) 年10月10日
代表者 代表取締役 今井 久師
社員数 320名 (男285名 女35名)
本 社 島根県江津市桜江町川戸472-1

事業内容

各種建設 (土木・建築・舗装・一般住宅) 工事、
アスファルト合材製造、宅地建物取引、
不動産賃貸、美術館運営、健康食品販売 など

勤務地 (採用エリア)

江津市、浜田市、邑智郡、松江市、
広島県、東京都

採用区分

新卒採用 キャリア採用

インターンシップ・キャリア

有 土木・建築部門で1日～5日間で選択可
能。最新3D技術の体験プログラム。詳
細・申込はマイナビから。

採用担当者からあなたへ

社会の未来をつくるスケールの大きな仕事。そんな仕事を当社ではやっています。建設業界では、ICTの活用が急速に進んでいます。当社は、新たな建設業界を切り開いて行けるあなたの力を求めています。ともに未来を創ろう！



管理本部人事課 係長
堀 大造さん

採用に関するお問い合わせ先

0855-92-1321

公式サイトは
こちら



Instagramは
こちら



マイナビは
こちら



働く人を支援する職場



国内留学制度を活用したのはこれまで11人。幅広い人材が活躍できるよう会社がサポートしている

Q. 高校や大学などで、
建築や土木に関する
専門的な勉強をしてい
なくても大丈夫ですか？

A. 当社には、文系出身の社員も多くいます。また入社後、社員の立場で基本給を取得しながら、島根県立東部高等技術校（出雲市）やポリテクカレッジ島根（江津市）で2年間、建築・土木に関する基本的な技術や知識を学ぶことができる「国内留学制度」を設けています。希望して入学すれば、在校中は会社に出勤することなく、通常の学生生活を送ることができます。

実際に制度を活用した社員からは、「集中して学びを得ることができた」という声を多く聞いています。建築・土木の現場で必要な資格を数多く取得できるので、現場での実務に生かされるだけでなく、卒業後の資格手当にも反映されます。

Q. 資格手当を
アップしたと聞きました。

A. 以前から、1級・2級の建築士、土木施工管理技士、建築施工管理技士、技術士などの資格を有している社員には、資格を取得した時の祝い金に加え、毎月の給料に上乗せする資格手当を支給していましたが、25年度からは金額を大幅アップ。資格によっては、月々の手当が3万5000円になるものも。社員のモチベーションアップにつながればと考えています。また、給与水準も若手を中心に底上げしており、最終的には中四国地方の業界トップを目指しています。



先輩社員が講師となって勉強会を開くなどして、資格取得を支援している

Q. 社宅がありますか？

A. 2025年4月、自宅から通勤しづらい地域に住んでいる社員を対象に、当社が賃貸契約をした物件を貸し出す「借り上げ社宅制度」を設けました。制度を利用する社員には、家賃の15%のみ負担してもらっています。また、江津市街地のアパート（9戸）をグループ会社が購入してリノベーションし、借り上げ社宅として提供できるよう現在、工事を進めています。単身用とファミリー用を設定しています。社員の福利厚生には今後も注力する予定です。



社員が快適に働けるよう、福利厚生には力を入れている

チーム力で町をつくる

入社後に職業訓練校で学んだ知識や技術を生かし、現場で活躍

大学時代は広島で暮らしたが、「ゆったりした時間が流れる地元の方が自分には合っている気がする」とUターン。幼い頃から建設業界で働く父親に連れられて作業現場に行った経験も影響し、キャンパスで学んだ内容とは別の業種を選んだ。

基本的な知識や技術を得てから仕事に臨もうと、当社の国内留学制度に応募。社員として給与をもらいながら2年間職業訓練校に通い、今年から現場に配属された。「基礎知識があるから現場の作業が理解しやすい。良い制度だと思います」。橋台工事の施工管理を担い、協力業者と連携を図ったり、安全書類の作成を行ったりしている。時には確認のため、測量作業を手伝うことも。「小さなズレが大きなトラブルにつながり、信頼も失います。確実性が大事です」



土木本部 技術推進室 技術推進課
下岡 磨生さん
入社3年目



土木工事のスケール感に魅了。神楽への理解も入社のきっかけに

「手に職を付けた方がいい」という父親の勧めもあり、土木業を選択。「土木工事で動く金額の大きさを知ってスケール感に惹かれました」。舗装部門に属し、道路の修復を担当することが多いが、三隅・益田道路の新設工事では伐採後から作業に携わり、舗装の下路床施工やケーブルの配管、地下排水なども経験した。「一から造り上げていく土木の魅力に触れることができました」。橋の工事にも関心があるという。

今井産業への入社を決めた理由がもう一つある。5歳の時から続ける神楽を継承できる環境が整っていることだ。社員の中には舞い手も多く、伝統芸能への理解が深いことを耳にしていた。「都会で働くことを考えた時もありましたが、神楽を続けたい気持ちが強くて」と熱く語った。



土木本部 舗装部 浜田工務課
河野 夢築さん
入社2年目



建築本部 石見支店 工務課
松本 晃太さん
入社7年目



安全や品質、工程を管理し、チームで造り上げる達成感

現在担当しているのは、集合住宅の改修工事。施工管理の一役を担うが、高い建物の場合、足場を組むまで既存設備の状態を正確に確認できないため、工程管理の見直しに迫られることも。「足場に上ってみると想定したよりも壁が傷んでいる場合もあり、材料の追加発注や作業員の要請などが必要になったりして結構大変です」

新築の現場に行くことも。担当した医療施設の工事では、土工、鉄筋、塗装などさまざまな業者が入れ替わり出入りし、多い時は日に10社を束ねながら作業にあたった。「日に1度は打ち合わせを行いました。完成時の達成感は大きかったですね」

サッカー同好会に所属するほか、今夏新設されたトレッキング部にも所属。場を和ませる、愛されキャラの一人だ。

建築現場のスタッフを後方支援。今後CADにも挑戦

大学卒業後の進路を明確に描けず、業種を絞らずに就職活動を送る中、大学の先輩に紹介されたのが当社だった。「嫌な人がいない会社と言われて。実際に会社見学に出向くと温かい雰囲気、自分が働けそうなイメージを抱きました」

建築本部で石見支店スタッフの休日管理や資格取得の案内などを行うほか、週に2日は現場で安全対策や原料納入などの事務作業を担う。「いろいろな業種の方が関わって一つの建築物を造り上げているんだと実感。現場の熱量の大きさにも驚きました」
浸水被害を受けて実家が移転した際、かさ上げ作業を担ったのが今井産業。「家族からは『恩返しなさいよ』と言われていました」と笑顔を見せる。CADにも興味があり、今後は少しずつ勉強する考えだ。



建築本部 石見支店 工務課
屋野 つかさん
入社1年目

